

★もくじ★

いちご通信 204

巻頭言「課題がいっぱい! どうしましょう!」……………	小山内美智子	P1
福祉に関する新聞記事 障がい者重度訪問看護『派遣時間 不足』4割 ……		P3
札幌介助研究会を発足しました……………		P4
東京での山下正知(まさとも)氏の講演会「重度しょうがいしゃの介護保障の起源 ～介護人派遣事業の成り立ちが重度訪問介護につながっている～」を聞いて、 あらためて今の社会に必要なことは何かを考えた件 ……	金田 博之	P6
車椅子はお父さんの足(第16回)……………	永島 勝章	P12
No.1 LOVELY 薔花子のアンナことやこんなコト♥……………	愛舞田 薔花子	P14
kiyoppyの窓 ……	清原 史浩	P16
第5回 Miracle Worker に憧れて ……	朝霧 裕	P17
第3回 ケアと好奇心と私……………	小林 博子	P18
ホーム&ライフ……………	ピーコック	P19
第5回 みんなで一緒に舞台を楽しもう……………	廣川 麻子	P20
ソロモン諸島からこんにちは ……	角田 紘世	P21
私の生活のア・ラ・カルト……………	澤口 京子	P22
第7回 車いす行政書士……………	木明 翔太郎	P24
要望書に対する、札幌市長からの回答 ……		P26
前に進むには何から始めるか……………	金田 博之	P32
特定非営利活動法人札幌いちご会2018年度事業報告 ……		P33
いちご会から会員の皆様へ……………		P36
札幌いちご会事業案内……………		P38
いちご会注文書……………		P40

前列の4人が、NPO法人札幌いちご会の理事です。

課題がいっぱい! どうしましょう!

小山内 美智子 (おさない みちこ)

この原稿を書いている時は、まだ3月の中旬です。今年度も、いちご会への会費をたくさんの方々が送ってくださり、ありがとうございます。障がい者の方々も積極的にいちご通信の原稿を書いてくださり、大変嬉しく思っています。若い人たちが、自分の身の回りにあったことを書いたり、社会へなにか伝えたいという気持ちがあることに力強さを感じます。(ページをすべてカラーにしたいな)(もう少しページ数を増やしたいな)などと、考えてしまいます。お金がかかるとは思いますが、でも夢を捨てないでいれば、いちご通信の執筆者の中から大作家が生まれるかもしれません。

30年間以上も続けてきている、書き損じはがきの寄付の呼びかけですが、パソコンの時代に入り、寄付が年々減っています。しょうがないことだと思いますが、まだまだ熱心に送ってくださる方々に、心から感謝をいたします。でも、どこかで商売を切り替えなければいけないと、毎日考えています。

考えているうちに、変な夢をみました。ヘルパーさんや職員の人たちに、私が「餃子を作ろう!」と呼びかけて、「七味やんにく、しょうが、アボカドなどを入れ、しょうゆとワインで味付けをしましょう」と言っているのです。ちょっと一風変わった餃子でした。誇らしげに言っていたのですが、(さて、どうやって売ったらいいのか、手作りでは儲けがないので、機械で作らなければいけない。これは大変な資本金がかかる…作っているみんなに悪いな)と思い、泣きそうになっている自分がいました。そんな時にぱっと目が覚め、(ああ夢でよかった!)と思い、枕で涙をふきました。ヘルパーさんが私の寝返りに来てくださり、「小山内さん、なにか苦しいんですか? うなっていましたけど、なにかあったんですか?」と言われ、私はハツとして「いや、なんにもないです! 寝ます、すみません」と言って、すぐに眠りました。

私はなにか考え込むと、夢に出てくることが多いです。でも私の餃子はとても美味しいんですよ。具をおしょう油やラー油で味付けておくのです。ヘルパーさんと、ああでもないこうでもないと言いつつ作っている時は、とても幸せなのですが、商売になると別ですね。なにかそのうち、もっと現実的な方法で活動費が集まるようになる夢をみられると信じています。私の夢はたいてい実現しています。だから今回も、一生懸命生きていれば、なにかアイデアが浮かぶと思います。そう信じていないと、楽しく生きられません。

今は、激しいポルノ小説に近いものを書いています。なかなか原稿は幼稚じみですが、でも部分的には良いところもあると思います。(これが当たって、芥川賞か直木賞が取れば、いちご会が安心して進んでいけるのにな)と夢みっていますが、たぶんそれは無理でしょう。でも、今の秘書は原稿のチェックが上手くて、余計な言葉を削ってくれたり、時々訳が分からなくなると、語り掛けた言葉を原稿にしてくれます。それがとても楽です。彼女に助けられ、私の心もやわらかくなります。まあ、43